



社会生活と言語コミュニケーション

大切にしたい四つの要素

●言語コミュニケーションの要素

社会生活において、言語によるコミュニケーションではどのようなことが大切か、文化庁が四つの要素に整理したものが、下の図です。

正確さ 情報は、内容に誤りや過不足があってははいけません。さらに、同じ内容をさすときには同じ言葉を使うなど、情報を送る側と受け取る側が、同じルールにのっとってやりとりをし、誤解を生まないように気をつける必要があります。わかりやすさ 自分が知っていることを相手も知っているとばかりやしません。相手が理解できる言葉を互いに使ったり、それをどのように説明するか、構成を考えたりする必要があります。

ふさわしさ 相手との関係や場面に応じて言葉づかいを変えたり、直接話したほうがよいか、電話や手紙がよいかなど、情報の伝え方を考えたりする必要があります。

敬意と親しさ 仲のよい友達どうしの会話では、くだけた言葉づかいをしたり、挨拶するとき一言つけ加えたりする

20

15

10

5

言語コミュニケーションの四つの要素

【正確さ】

互いにとって必要な内容を誤りなくかつ過不足なく伝え合うこと。

【ふさわしさ】

目的、場面や状況と調和するように、また、相手の気持ちに配慮した言い方を工夫して伝え合うこと。

四つの要素を意識し、目的に応じてそれぞれの優先順位やバランスを調整する

【わかりやすさ】

互いが内容を十分に理解できるように、表現を工夫して伝え合うこと。

【敬意と親しさ】

伝え合う者どうしが、互いに心地よい距離をとりながら伝え合うこと。

など、相手や場面によってさまざまな敬意の表し方があります。

2018年『「わかり合うための言語コミュニケーション（報告）」の概要』（文化審議会国語分科会）より

